

スローテンポ通信

第 25 号

2019年3月15日

発行：一般社団法人スローテンポ協会
〒329-0403 栃木県下野市医大前 3-7-4-3F

☎ 0285-35-2888

Eメール usagimokamemo@gmail.com

ブログ『うさぎもかめも』

<http://usagimokamemo.blog.fc2.com/>

◎ あなたのお力、お貸してください！

「誰もが働き誰もが輝く」をスローテンポに、モデル事業を展開します。

進行中のプロジェクト：

- ※ 新時代の**本屋**のあり方
- ♥ 誰もがほっとする**カフェ**づくり
- ❖ 小山ロブレを注目の駅前ビルにする
関心のある方は当協会まで。

ベストセラーばかりが面白いとは限らない
スローテンポ書店
営業：火～土 13時～19時
日祝日休み



☆ 『あなたが知らないだろう おすすめ 100選』

A4版 12 ページ、無料、書店にあります。

☆ 今月のおすすめ

・『「当たり前」をひっくり返す』

竹端 寛 著

現代書館 2018年 2000円＋税

イタリアから精神科病院をなくしたバザリア、知的障害者の脱施設化を主張したニリエ、貧困者に課題解決型の話し合いを提唱したフレイレ、3人は共通して抑圧される側の解放を訴えた。そこから当たり前をひっくり返す発想を知る。

・『「感動ポルノ」——障害者は健常者に感動を与える存在か』

『季刊福祉労働』161号 特集企画

現代書館 2018年 1200円＋税

もうすぐパラリンピックがやってくる。障害者スポーツが注目される中、障害者は健常者に感動を与える存在でしかないのかと問いかける。雑誌は言論の最前線だ。11人の気鋭が執筆する。

インスタントラーメンにも 歴史があった

テレビドラマでインスタントラーメンが話題になっている。インスタントラーメンと自分自身との関わりを振り返ってみたら、それを文章にしてみたかった。

インスタントラーメンが我が家に登場したのは1955年頃である。八百屋にも魚屋にも並べられ、すでに人気商品だった。

インスタントラーメンの元祖は、日清食品の創業者、安藤百福が開発したチキンラーメンだ。他の食品メーカーも「これは売れる」と見抜き、すぐにまねをして独自のインスタントラーメンをつくり売出した。

各メーカーが競い合ったから、テレビコマーシャルで毎日のように宣伝された。大人も子供も、コマーシャルによって商品名と会社名をすっかり憶えてしまった。家庭の台所を担っていた母親達は、「これは手間がかからない」と喜んだ。

「鍋一つでラーメンがすぐ出来る。」「簡単、便利で手間いらず。」だから、大人にも子供たちにも大人気だった。

「うちはチャルメラよ」とか「うちは出前一丁ラー油付」だとか、母親達の井戸端会議でもラーメンの話題でもちきりだ。テレビにすぐに影響される子供たちも、学校に行っても自分の好きなラーメンを言い合った。ちなみに私の家は、サッポロ一番かチキンラーメンだった。

お昼ごはんやおやつの中身が変わったのはこの頃だった。私が小学生の頃は、土曜日が半ドンだったので、家に帰ってからのお昼ごはんは、インスタントラーメンかおにぎりというパターンがほぼ出来上がった。

間もなく、テレビで「インスタントラーメンの問題点は？」という特集番組があった。

その内容は「偏った栄養のインスタントラーメンばかりを採り続けるのは身体に悪い。」「脂肪や塩分の摂り過ぎも良

くない。」「野菜や卵を入れて、栄養のバランスをとらなくてはいけない。」というものだった。

ラーメン好きの私の体重は少しずつ増え、小学6年生のときには立派な肥満児になっていた。簡単で手軽に食べられるラーメンは、人気の反面、脂肪分が多いのでカロリー過多になることに人々が気付き始めた。ニュースで肥満児が社会問題として取り上げられたのはこの頃だった。

しばらくして、サッポロ一番に新しい仲間が登場する。まだ他のメーカーが醤油味で競い合っていた頃、♪サッポロ一番みそラーメン、塩ラーメン♪が相次いで登場した。

これは驚きだった。私はラーメン屋で塩味のタン麺を食べていたので、塩ラーメンなら「こんな味だろう」と予想できたが、みそラーメンは想像すらできなかった。街のラーメン店が味噌ラーメンを売り出すのはその後のことだ。始めてみそ味のラーメンを食べたときは、あまりの美味しさに、この世に生まれてよかったと思ったものだ。

みそ味、塩味がでた頃から、母のつくるラーメンに変化がおきた。それまでの醤油ラーメンには何も入れなかったが、みそ味、塩味のラーメンにはキャベツやニラ、もやしなどがのり、見るからにぜい沢なラーメンになったのだ。

ラーメンに野菜がのり始めたのは、テレビが特集番組で、「栄養のバランスが良くない。」「野菜をのせなさい。」と言ったからであり、それを受けて食品メーカーが野菜とマッチする味噌味、塩味を売り出してくれたからである。

テレビのおかげで、野菜や卵などの入った贅沢インスタントラーメンを食べられるようになった。

それから間もなくして、容器付きのカップラーメンが登場することになる。

たべものがかり



正しく伝えて人とつながる 実用文教室

文章は最も正確なコミュニケーションの道具です。自分の思いを文章にすることで、考えが点検され、自分自身を広い視野から見つめられるようになります。

毎週木曜日午後6時～8時、
参加費は資料代含めて、1回500円。
参加随時、お問い合わせは当協会まで。



どなたも歓迎 懇話会

社会参加は、人と話すことから始まります。最初の30分は参加者から話題を提供していただき、残り時間は課題をしばらく、経験やアイデアを出し合って話し合います。

水曜日午後7時～9時、参加無料。

